

主教材（基礎学習、発展学習）について

- ・通信課程なので一人で課題に向き合うのは大変だった。
- ・課題について自分で調べる習慣ができ、大変勉強になった。
- ・実際の試験に似た問題もあったので、しっかり勉強でき、国家試験にも役立った。
- ・自宅学習が国家試験の基盤づくりにつながった。
- ・各科目の教員からのアドバイスは的確かつ適切だった。
- ・難しい課題をクリアできたことで達成感が生まれ、自信がついた。
- ・仕事と家庭を両立させながら、効率よく学ぶことができた。

スクーリング（面接授業）について

- ・対面授業はとてもためになった。
- ・濃厚な授業内容で刺激を受けた。
- ・他の学生との情報交換がとても参考になった。
- ・自宅学習だけでは習得しにくい社会福祉士としての視点や倫理を身に付けることができた。

補助教材（『履修の手引き』『相談援助実習ガイドブック』）について

- ・「履修の手引き」が丁寧で、わかりやすかった。

『学科通信』（各月号、特別号）について

- ・毎月送られてくる「学科通信」で提出物の確認ができた。
- ・先生の言葉が励みになった。

その他

- ・先生、事務局の方は、丁寧で親身になって対応してくださった。
- ・先生は質問に対して、メール等ですばやい対応をしてくださった。
- ・何度も諦めそうになったが、先生の励ましで最後まで頑張ることができた。
- ・先生と課題のこと、私的な心配事を相談し、解決できたことで、修了することができた。
- ・課題が自分の手元に返ってくるまでに時間がかかった。